

ふくしまファンクラブ

会報

Vol.19

平成 23 年（2011 年）12 月 2 日発行



がんばるふくしま!

フラガール



フラガール平田千晴さんの力強い言葉に感動を覚えます。

「フラガール全国きずなキャラバン」を終えたフラガールが、いわき市「スパリゾートハワイアンズ」に帰ってきました。

5月3日から続いた46年ぶりの全国キャラバン。震災からの復興を願い、全国にきずなを広め、笑顔をお届けしてきました。

この活躍は、福島だけでなく東北復興のシンボルと称され、観光庁長官表彰の受賞に加え、「がんばっぺフラガール!」と題したドキュメンタリー映画となり再び感動を届けています。

10月12日には、新人フラガール6名もデビューし、あたらしい姿のフラガールを感じる事ができます。

「笑顔と元気を取り戻すために一生懸命踊ります!」といわき市出身の新人フラ



フラガール 平田千晴さん

また、来年5月に開催される第6回太平洋・島サミットの親善大使を、本県出身の玄葉光一郎外務大臣から任命され、被災地復興を世界にアピールします。

フクシマに生きる彼女たちは、未来へ向けて笑顔をとどけるために全力で頑張っています。がんばっぺフラガール!



がんばるふくしま!

い わ き 湯 本 温 泉

いわき湯本温泉は、南を茨城県に接し、東に太平洋を望む広域都市、いわき市のほぼ中央に位置し、JR常磐線湯本駅のすぐ目の前に広がっています。

泉質は全国的にも珍しい天然硫黄泉で、含まれる塩分の効能には発汗を抑えるための保温効果がありホカホカと体が温まります。



開放感のある露天風呂も人気

歴史ある温泉

日本三古湯に数えられ、道後温泉(愛媛県)、有馬温泉(兵庫県)とともに歴史ある温泉として知られています。開湯は、今からおおよそ千三百年前。「佐波古(三函)の御湯」の古名を持ち伝説によれば神話の時代から続くとされています。



江戸末期の建築様式を再現した外観のさはこの湯

湯本の町は、常磐炭鉱という本州随一の産炭地に恵まれ石炭産業により栄えました。

昭和40年代中頃から石炭の斜陽と共に閉山が続き、炭坑会社は温泉娯楽施設(現 スパリゾート ハワイアンス)などを設立し企業転換を図りました(この実話をもとにした映画が「フラガール」です)。

昭和63年の常磐自動車道の開通、さらに磐越自動車道が開通。より一層交通の便が良くなり、首都圏からの誘客で県内有数の温泉郷として繁栄し現在に至っています。

足湯で健康に!

湯本の温泉街には2か所の足湯があります。駅前にある「愛湯物語の足湯」と温泉神社近くの「鶴の足湯」です。ともに無料で観光客や地元の方々に親しまれています。



鶴の足湯

鶴の伝説



三函温泉由来記

近江の国から二人の若者がこの地に訪れた時、一羽の丹頂鶴が近くの山に降りるのが見えた。近づくと思つた二人は、鶴を親切に看病してやった。それからしばらくして、若く美しい女性が二人のもとを訪れ、稲と粟と一卷の神書を置いていった。神書には、「佐波古の温泉は神がお造りになられたものである。汝等は此の地を拓いて、此の地の民の暮らしを支えるべし。」と神勅が記されていた。そこで二人はそこに小さな草屋を造り、女が置いていった稲粟の二穀を耕作し、子々孫々にわたり温泉を開いた。

イベント情報



地元では「こんぴら様」として親しまれている金刀毘羅神社で、毎年恒例の例大祭が行われます。いわきだるまの販売など多数の露天が並びます。ぜひ足をお運びください!

日時/平成24年1月10日(火)
場所/いわき市常磐関船町諏訪下
TEL 0246-43-1001

奈良時代創建の温泉神社



お問い合わせ
いわき湯本温泉旅館協同組合
TEL0246-43-3017
HP <http://www.iwakiyumoto.or.jp/>

今、温泉街のほとんどの旅館や飲食店は営業を再開しています。一時は、被災地からの避難者・復興支援の工事関係者の宿泊が多数ありましたが、その数も減り、今は観光客を呼び戻そうと頑張っています。この冬、ぜひご家族でお出かけください。



復興企画

- ①入場料半額!
大人(中学生以上) 3,150円 → 1,500円
小学生 2,000円 → 800円
幼児(3歳~) 1,400円 → 500円
(平成24年2月7日まで)
- ②70才以上無料!
(平成23年12月31日まで)
- ③子ども無料!(小学生以下)
(平成23年12月17・18日)
(平成24年1月14・15日)
(平成24年1月28・29日)



お問い合わせ
TEL 0246-43-3191
HP <http://www.hawaiians.co.jp/>

一部再オープンしているハワイアンズは、平成24年2月8日のグランドオープンを目指して急ピッチで工事を進めています。フラガール全国きずなキャラバンで見たあの感動を、もう一度いわきで堪能してください。

◆がんばるいわき

スパリゾートハワイアンズ



お問い合わせ
TEL 0246-32-8075
HP <http://www.429-love.jp/>

いわき市四倉の海岸沿いにある「道の駅 よつくら港」は、津波により、野菜や特産品はもちろん、建物にも大きな被害を受けました。しかし、地域やボランティアの方々を支えられ4月16日に仮営業を始めることができました。白土駅長は「地域の方々にとっても感謝しています。早く施設を改修し復活したいです」と平成24年7月の完成を待ち望んでいます。工事期間中は、隣接する駐車場に大型テントを設置して仮営業を続けます。

道の駅 よつくら港



東北最大級の親子で楽しむ屋内型遊び場を設け、11月25日にリニューアルオープンした「いわき・ら・ら・ミュウ」。アクアマリンふくしまの近くにあり、いわきの特産品などを買うことができます。装いを新たに皆さまをお待ちしております。

お問い合わせ
TEL 0246-92-3701
HP <http://www.lalamew.jp/index.php>

いわき・ら・ら・ミュウ

がんばるふくしま！

東山温泉

今から約千二百年前、名僧行基により発見されたと伝わる東山温泉。東日本大震災においては、多くの被災者の方々を受け入れました。今回は、東山温泉と冬の会津の魅力を紹介します。



東山温泉は、新撰組の土方歳三も傷を癒し、竹久夢二、与謝野晶子などの墨客にも愛されたという歴史ある温泉郷です。

鶴ヶ城まで約10分という距離は、会津若松市の奥座敷として親しまれてきました。泊まっても、日帰りでも、ゆつくりと楽しむことができます。

今回の大震災において東山温泉では、被災した市町村の住民の皆さん二千四百人を受け入れました。避難で疲れた皆さんの心身を、自慢のサラサラの硫酸塩泉でゆつくりと癒していただきました。

その後も、避難者の皆さんの共通の「ふるさと」として、利用していただいています。

東山温泉は、このような「絆」を大切にしてお客様をお迎えしています。これからも会津の滞在観光の中心として、福島県の観光復



興に努めて参ります。

ぜひ、東山温泉においでいただき、冬の会津を楽しんでください。

お問い合わせ
東山温泉観光協会
TEL 0242-27-7051
HP <http://www.aizu-higashiyama.com/>



合言葉は、「来る人も、迎える人もハッピーに」。
福島ハッピーデザインプロジェクト

ロゴのモチーフは、起上がり小法師。みんなでしあわせな福島をデザインしましょう。「ふくしま HAPPY 隊」も福島を PR します。

公式 Facebook ページ [facebook](#) FUKUSHIMA HAPPY DESIGN [検索](#)

タイムリーな情報をお届け！ ふくしま観光ジャーナル展開中



県内観光地の状況や復興に頑張る人など、福島観光の「今」をWEBで発信します。

<http://fks-happy.com/>





◆まち歩きスイーツ

10月1日から3月31日まで、会津若松市内の大町・七日町を中心に「まち歩きスイーツ」が開催中。500円で幸せのスイーツをお召し上がり下さい。

東山温泉や芦ノ牧温泉も参加する日帰り温泉入浴500円プランやお楽しみクジのほか、Wチャンスとして宿泊券プレゼントもあります。どうぞ、ご参加ください。

◆冬の会津のイベント

十日市



地方最大の初市であり、「起き上がり小法師」や「風車」、「市飴」などの縁起物を買ひ、一年間の無病息災を願います。

1月10日には会津若松市の神明通りを中心に「十日市」が開催されます。会津



十日市

会津絵ろうそくまつり

2月10・11日には「会津絵ろうそくまつり」が開催されます。500年以上の歴史を持つ会津絵ろうそくを鶴ヶ城や御薬園をはじめ、市内各所で灯します。会津を照らす復興の希望の光をご覧ください。



お問い合わせ
会津若松観光物産協会
TEL 0242-24-3000
HP <http://www.aizukanko.com/>

御薬園

名庭園で高級デザートはいかが？



国指定名勝の会津松平氏庭園「御薬園」。その名は園内に藩主が薬草園を植えたことから。東山を借景に取り入れ、心字の池や男滝女滝、茶室「楽寿亭」などを巧みに配置した名庭園です。

園内に移築された秩父宮妃勢津子殿下ゆかりの重陽閣では、妃殿下が愛した英国王室御用達の紅茶や季節のデザート、そば粉のガレットなど、上質なひとときを楽しむことができます。



お問い合わせ
御薬園
会津若松市花春町8-1
TEL 0242-27-2472
HP <http://www.tsurugajo.com/ayakuen/>



平成25年大河ドラマ

八重の桜

【集中連載・第2回】

徹底解剖

会津藩出身の女丈夫「新島 八重」
NHK大河ドラマで描かれる八重をクローズアップする本連載
連載2回目となる今回は、八重と兄覚馬が過ごした会津での時代を中心に
当時を振り返る



八重役の綾瀬はるかさん

◆八重と砲術

八重は弘化二（1845）年11月3日に郭内米代4ノ丁（現在の会津若松市米代）に生まれる。今から160余年の前のことである。
2歳年下の第三郎と共に幼少期を過ごす。その後、八重は兄覚馬から砲術を習っている。鶴ヶ城への籠城に關した本人の述懐によれば「元籠七連発銃を肩に担いでまいりました。他の婦人は薙刀を持っておりましたが家が砲術師範で私もその方の心得が少々ございましたから鉄砲

※新島八重略年表※

西暦	和暦	年齢	出来事
1845	弘化2	0歳	会津藩砲術指南・山本権八（父）／佐久（母）の三女として生まれる。
1865	慶應元	20歳	川崎尚之助と結婚。
1868	慶應4	22歳	戊辰戦争が始まる。鶴ヶ城に籠城し、落城まで戦い抜く。会津藩は斗南藩に移封される。川崎尚之助と離縁。
1871	明治4	26歳	兄覚馬を頼り京都へ。
1876	明治9	30歳	同志社の創立者となる新島襄と結婚。
1890	明治23	44歳	夫・新島襄死去。日本赤十字社に入る。（後に日清・日露戦争時に活躍）
1928	昭和3	83歳	篤志看護婦としての功績により銀杯を下賜される。
1932	昭和7	86歳	86歳の生涯を終える。

にいたしたのでございます。」と語られている。（※）

この八重自身の言葉から、八重の並々ならぬ決意を感じ取ることができ

◆覚馬と佐久間象山

兄覚馬は、八重の17歳年上で文政十一（1828）年生まれ。9歳で会津藩校日新館に入学し、23歳で所定の過程を終える。時代は覚馬の旅立ちを待つかのよう動き出す。会津藩主9代松平容保公

※文中の八重の述懐は「婦人世界 4巻第13号明治42年11月発行」による。

の就任とペリー来航、このただ中である嘉永五（1852）年、覚馬は砲術隊長林権助の随行人として江戸に向けて旅立つ。

覚馬は江戸で三年過ごしているが、その間、わずか7ヶ月ではあるが佐久間象山主催の象山塾に学ぶ。この時、勝海舟や吉田松陰、橋本左内、河井継之助ら幕末を彩る多才な志士との交流が芽生え、自身の出自である砲術面にあつては洋式兵学の重要性を強く認識している。

会津に戻つてからは日新館に蘭学所を開くと同時に江戸で自ら学んだ洋式兵制導入を試みる。蘭学所教授には後に八重と結ばれることになる川崎尚之助を招聘している。しかしながら、会津藩の中には旧来の武士道を重んじる風潮が見られ、覚馬の藩政改革は順風満帆ではなかった。

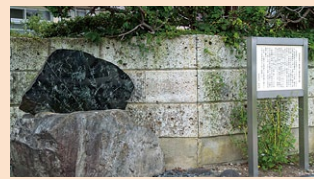
西洋の文化に触れ、諸藩の兵制を学んだ覚馬にとつては、藩の対応の鈍さに忸怩たる思いの中で、一歩一歩の前進であつたことと考慮される。



◆ゆかりの場所を巡つて

翻つて平成の世、八重と覚馬が歩んだ道を辿つてみた。

八重・覚馬の生家跡
会津藩校日新館跡〜会津鶴ヶ城〜



八重・覚馬の生家跡

細い路地に句碑が建つ。八重と覚馬、2人はこの郭内の生家でどのような暮らしをしてきたであろうか。

生家跡からほど近く、現在は国道118号線となつている栄町四丁目通りに「会津藩校日新館跡」の石碑が建つ。ここから西に進むと「天文台跡（観台）」が唯一現存する。当時の規模の半分とのことであるが、台に登り鶴ヶ城を臨むと、東に天守閣が聳える。覚馬も同じように天守を臨んだであろうか。



会津藩校日新館跡



会津藩校日新館天文台跡

この会津藩校日新館は、現在、会津若松市河東町に体験施設として再建され、座禅体験や茶道体験等を行うことができる。今年度より小学6年生向けの社会科教科書にも掲載されている「什（じゅう）の掟」を学ぶこともできる。

（欄外参照）



再現された会津藩校日新館



若松城天守閣郷土博物館の湯田祥子学芸員は「八重

はこの幕末の時代に生きてきたからこそ、光り輝いたのではないか。」と話す。確かに、八重が生まれた家の時代背景であつたからこそ、その活躍は多くの人の目に止まり「幕末のジャンヌ・ダルク」などと称されたのであろう。八重が切り開いた女性の自立、その功績は計り知れない。

鶴ヶ城ボランティアガイド

今回訪れた「八重・覚馬の生家跡」「会津藩校日新館跡」「会津鶴ヶ城」は全て徒歩で歩くことができる範囲に位置している。会津鶴ヶ城のボランティアガイドと共に史跡を巡るのがオススメ。1週間前までに要予約。無料で利用できる。

電話 0242-27-4005
(8:30 ~ 17:00)

ふくしまファンクラブのホームページに「八重の桜関連地図」を掲載しています。ふくしまファンクラブで検索

会津藩江戸藩邸跡〜佐久間象山塾跡



会津江戸藩邸跡

江戸時代、会津藩の上屋敷は和田倉門内の江戸城西丸下の北部に置かれた。写真は現在の和田倉門橋。（千代田区皇居外苑）

佐久間象山の開いた私塾。嘉永四（1851）年、現在の江東区永代から写真の江戸木挽



佐久間象山塾跡

町（現在の中央区銀座6丁目）に住いを移す。勝海舟や吉田松陰、橋本左内、河井継之助など数多くの有能な人材が集まる。覚馬もこの地に足を運び、数多くの友人と将来を語り合ったのであろう。

大交流フェア開催!!

元気なふくしまを皆さんに届ける場として毎年恒例の大交流フェアを開催します。ステージイベントやB級グルメ、そして福島県をはじめ県内各市町村のブースを設け定住・二地域居住の相談をお受けします。

また、首都圏に避難している方々へも元気なふくしまをお届けしたいと考えております。詳細が決まり次第、随時お知らせしていきますのでどうぞお楽しみに!

〈日時〉
平成24年3月20日(火・祝)
10:00~17:00
〈会場〉
東京国際フォーラム
(有楽町駅から徒歩1分)



昨年の様子 沖方丁さんと佐藤知事

まるごとFITフェア2011 開催!!

昨年度に引き続き、福島(F)・茨城(I)・栃木(T)3県の美味しいものを集めた物産フェアを開催します。地域内のえりすぐりの特産品の販売や、ステージイベント等、盛りだくさんで開催します。

ぜひ会場にお越しください。

〈日時〉平成23年12月10日(土) 10:00~20:00
〈会場〉サンシャインシティ(池袋)地下1階噴水広場
◆お問い合わせ先(FIT構想推進協議会事務局)
福島県地域振興課 電話024-521-7118
◆詳細は→<http://www.fit-area.jp/>



昨年のフェア会場様子



高校生によるフラダンス

ふくしまの うまいもん・ すてきなもん プレゼント



ご応募いただいた方の中から、抽選で「スパリゾートハワイアンズ」入場券をペアで5組にプレゼント!

応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へご応募下さい。
応募締切 12月26日(月) 必着
あて先 〒960-8670 (住所記載不要) 福島県庁観光交流課
ふくしまファンクラブ「プレゼント」係



※当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。

高速道路無料化

被災地の復旧・復興を支援するため、東北地方の高速道路の無料開放が実施されます。

●期間 平成23年12月~平成24年3月末

●対象 全車種 ※県内は全て無料

詳細は国土交通省のホームページでご確認ください。

編集後記

寒い冬はあったかい温泉へ。温泉王国でもあるふくしま。飯坂温泉、岳温泉、磐梯熱海温泉、芦ノ牧温泉、湯野上温泉、二岐温泉…泉質も風情も個性豊かな温泉が目白押し。温泉に浸かって心も体もリフレッシュ!がんばっぺふくしま!

福島を訪れる方へ

東京電力の原発事故による環境放射能測定値については、福島県災害対策本部のホームページ (<http://www.pref.fukushima.jp/>) で確認することができます。